

平和行動 根室派遣団 北方領土返還を求めて一人ひとりが行動を起こそう!

9月7日～10日、平和行動in根室が開催され、関東ブロック代表団（87名）の群馬派遣団として、産別・地協より13名が参加しました。

北海道は移動距離が長いため、牧場や湿原風景の中を道東の産業や自然などをガイドの説明で学習しながらバスで移動しました。



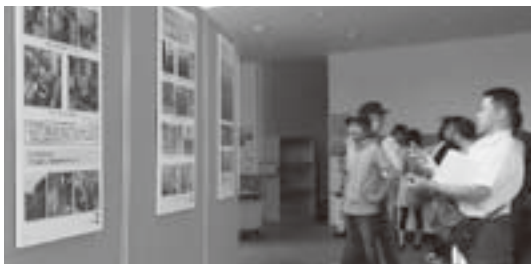
霧の向こうに北方領土をのぞむ納沙布岬にて

平和行動は、9月8日と9日に実施され、8日の北方四島学習会では、北方領土の現状や問題点、北方領土に残る日本家屋の保存に向けた取り組み、自然の宝庫ともいえる北方四島の自然と諸問題などを学習しました。

9日の2012平和ノサップ集会では、元島民・関係団体の方々より、自分が生きているうちに島へ戻りたいという切実な思いや高齢化によって運動が衰退していくため、連合の皆さんの力をさらにお借りしたいなどの訴えを聞き、四島返還への思いをあらためて共有するとともにさらなる運動の強化を確認しました。



北方四島の返還をめざしがんばろう



北方領土の歴史などをパネルで学習



関東ブロック参加者記念写真



集会の様子

連合群馬ユニオン 学習会を開催!

9月1日、前橋テルサにおいて、連合群馬ユニオン学習会を開催し、加盟組合員や執行部など26名が参加しました。

学習会は、木暮執行委員長を講師に、組合役員としての自らの体験談や、出身組合が進めている社会貢献活動を紹介し、労働組合は地道な活動が必要であると話されました。また、県民意識調査の集計結果を紹介し、労働者や労働組合と経営者の回答から見える認識や考え方が違う部分などをあげ、労働組合がいかにして双方の認識合わせができるかということが求められており、労働条件等の交渉だけでなく、会社の経営状況を労働



ユーモアを交え
講演する
木暮執行委員長

組合がしっかり把握することも大変重要であるといった講演を受けました。

続いて、6月に就任した阿部組織アドバイザーを紹介した後、高橋、今井、杉戸組織アドバイザーから、「労働組合を結成しても会社が認めないことが多く、組合活動を軌道に乗せるまでが大変だが、健全で安定した労使関係が早く築けるように日々取り組んでいる」と活動報告がありました。

最後に加盟組合の活動紹介や執行部の自己紹介、意見交換を行い、交流を深めました。



話しに聞き入る参加者